

# 臨床検査医学

## 検査部・輸血部・病理部・薬剤部

### I. 臨床検査医学・検査部・輸血部・病理部

#### 1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間            午前 9:00      午後 13:30  
 (2) 集合場所            外来棟2階 検査部ポリクリ室

#### 2 実習概要（実習内容）

医師として必要な臨床検査医学・輸血医学・病理診断学の基本を実技実習と検査成績の解析を通して学ぶ。

#### 3 GIO（一般目標）

それぞれの検査の意義、手技と方法、検査値とその解釈の方法を学ぶことにより、臨床検査における検体採取から測定に至る過程と注意点を修得し、さらには疾病診断における臨床検査および病理診断の意義を理解し、その正しい利用法を修得する。

#### 4 SBO（到達目標）

- (1) 検査オーダーから測定までの手順を説明する。
- (2) 静脈採血を実施し、適切な検体処理を行う。
- (3) 全血球数算定（CBC）、血液凝固、血液生化学の基本的検査を実施する。
- (4) 尿沈渣標本、末梢血塗抹標本、細菌塗抹標本を作製、鏡検し、血球および細菌を分類する。
- (5) 血液型検査と交差適合性試験を実施して、その原理と手順を修得し、輸血の可否を判定する。
- (6) 病理標本作製の過程を説明する
- (7) 病理組織標本の観察を行い、病理診断の進め方を理解する。
- (8) 心電図（標準12誘導）、呼吸機能検査、筋電図、神経伝導速度、脳波を記録し、判読する。

#### 5 スケジュール

曜日	担当教員	9:00	12:30	13:30	16:30
月	矢野・吉野	イントロダクション 採血と基本的検査			尿・一般検査
火	荒木・馬庭 荒木 (Ⅱ)	検査部・輸血部見学 グラム染色			病理部見学・実習
水	午後 薬剤部	薬剤部の項を参照 (集合時間は <u>8:30</u> )		午後 検査部 新田	13:45～ 生理機能検査実習
木	原田・吉富	輸血検査実習			心電図判読演習 Reversed CPC
金	井上・濱田 石飛	輸血セミナー			脳神経生理セミナー 脳波実習

#### 6 評価法

実習手帳に基づき、実習態度及び実習中の口頭試問・小テスト等で評価する。

- 7 その他注意事項等  
 集合時間を守ること。

## II. 薬剤部

### 1. 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 金曜日 8:30
- (2) 集合場所 附属病院C病棟1階薬剤部内 薬剤師室

### 2. 実習概要（実習内容）

- (1) 処方鑑査・解析：処方せんを用いて処方鑑査を行い、適正な処方を作成する上での注意点を理解する
- (2) 注射剤混合調製：2つの班に分かれて、中心静脈点滴注射剤（A班）あるいは抗がん薬注射剤（B班）の無菌混合調製を薬剤師の指導の下で実践することにより、薬剤調製にかかわる知識ならびに技能を習得する
- (3) チーム医療：ICU病棟において薬剤師が実施する薬学的管理を見学することにより、チームアプローチによる薬物療法適正化の重要性を理解する

### 3. GIO（一般目標）

医師として必要な処方作成および薬剤調製のための知識および技能を習得するとともに、チーム医療の重要性について理解する

### 4. SBO（到達目標）

- (1) 適正な処方せんが作成できる
- (2) 医療過誤防止のための処方鑑査の重要性を説明できる
- (3) 注射剤無菌調製が適切に実施できる
- (4) 薬物療法適正化のための薬学的管理の重要性を説明できる

### 5. スケジュール

時刻	実習項目（場所）	担当教員等
8:30～9:05	総論（薬剤師室）	直良，西村，小村直
9:05～10:05	A班：中心静脈点滴注射剤無菌調製（無菌製剤室） B班：処方鑑査（調剤室）	尾村，他 平，他
9:55～10:10	休憩	
10:20～10:50	薬学的管理（ICU）	石原，他
10:50～11:50	A班：処方鑑査（調剤室） B班：抗がん薬注射剤調製（外来化学療法室）	平，他 玉木，陶山，洪江，他
11:50～12:00	評価（薬剤師室）	直良，矢野，玉木

項目によりA班、B班（各2～3名）に分かれて実習する

### 6. 評価方法

出席状況、実習態度、レポートにより総合的に評価する

### 7. その他注意事項

- ・ 集合時間を厳守すること
- ・ 白衣を着用すること
- ・ 欠席する場合は事前に連絡（下記）をすること
- ・ 医療者としての身だしなみと態度に気をつけること